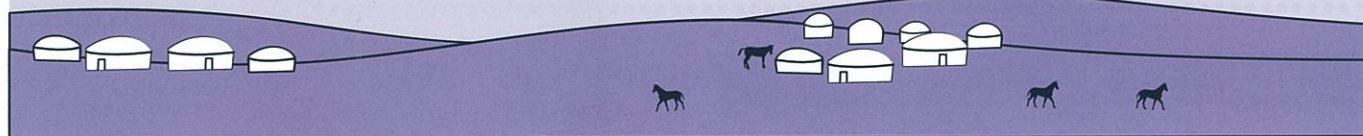


# NewsLetter

vol.27

「ぴあ・かもみーる」日記 ●  
 パオ9周年記念イベントリポート ●  
 教えて！ぱおぞうさん ●



パオの  
 現いま

## 「ぴあ・かもみーる」日記 ⑧

ぴあ・かもみーるを元気に巣立ったAさんの話です。以前に私が少年事件の付添人として担当していました。

ある日、Aさんが少年院から手紙を送ってくれました。Aさんは、少年院には行かずに済むことも十分あり得ましたが、二人暮らしの母親との関係が良くなく、母親が受入れを拒んだこともあって、少年院に送られることになってしまいました。

Aさんは母親から優しく接してもらいたい、頑張っていることを認めてほしいという思いが強かったようですが、なかなか母親には思いが伝わらず、親子の関係がうまくいかない中で、問題行動を起こしていたように感じられました。

Aさんからの手紙には、母親が受入れを拒んでいるので、少年院退院の時期を迎えたとしても帰る場所がなく困っている旨が書いてありました。当時まだ16歳だったAさんが一人で生活できるはずもなく、生活場所を確保できなければ、少年院から帰してもらえない状況でした。

そこで、私はT代表に、「ぴあかも」でAさんを受け入れてくれるようお願いしました。そして、Aさんの「ぴあかも」での新生活が始まることになりました。私とS弁護士と二人でAさんのパートナー弁護士となり、自立に向けて応援していくこととなりました。

Aさんは「ぴあかも」入所後、介護の仕事に就き、周りの誰もが認めるほど、一生懸命働きました。介護の仕事は小柄なAさんには大変だと思えますが、疲れて帰ってきてても「ぴあかも」のスタ

ッフが温かく迎えてくれ、ほかの入所者にもぎやかに迎えてくれたので、Aさんも頑張れたのだらうと思います。仕事での出来事などを聴いてくれる人の存在が、Aさんに頑張る力を与えてくれたのだらうと思います。

そうして、Aさんは私たちの予想よりも早く、8か月ほどで一人暮らしに必要な資金も貯めて、生活のスキルも学んで、ぴあかもを旅立っていきました。

毎日、誰かがそばにいてくれて励ましてくれることで、人は持てる力を十分に発揮することができるのだということをAさんに教えられた気がします。Aさんのために「ぴあかも」を紹介できて、本当に良かったと思います。

Aさんは、私をてんとう虫に似ていると言ってくれました。その意味するところはAさんには確認していませんが、一般には、てんとう虫は太陽に向かって飛んでいく縁起の良い虫とされているようです。ぴあかもでの生活につないでくれたということで、幸運の象徴という意味で言ってくれているのだらうと勝手に思っていますが、本当のところはどうなのでしょう？ 今度、Aさんに聞いてみようと思います。(てんとう虫弁護士K)

